

# ELAC

CL-310JET



CONVINCING BY QUALITY

ただものではないという、その予感は正解です。

写真は原寸大



# ELAC

CL-310JET



ドイツからやって来た、  
サブ・ウーハーなしに  
フル・スケール再生を可能にした、  
驚異のマイクロ・スピーカー。

ELAC CL310JETは、208×123mmのフロント・バッフル・サイズでありながら、デスクトップでのニア・フィールド再生とは全く次元を異にするフル・スケール音楽再生を目指した驚異のニュー・ジェネレーション・スピーカーです。そしてそこに盛り込まれた最新技術の数々が物語るのは、音楽のもつ情景を豊かにそして正確に再現する、まさにミラクルと呼ぶにふさわしいパフォーマンスの全容なのです。

### 常識を超えた低音再現とスピード感。

CL310JETの特徴は何と言っても20年前から存在したオスカー・ハイル博士考案の、いわゆるハイル・ドライバーを発展させたELAC製JET(Jet Emission Tweeter)の採用です。ハイル・ドライバーは当時からそのトランジェントの良さとスピードの速さが評判でしたが、能率が低いことや、その下の周波数を受け持つユニットがそのスピードについていけない理由から、その優秀性を理解されながらも不遇の時代を送ってきました。ELACではこのペンディング・ウェーブ方式のブリーツ状ダイアフラムを精密な技術で自社生産し、磁気回路に強力なエネルギーと歪みの少ないネオジウムをマウントすることで、その能力を圧倒的なものとししました。そして忘れてならないのがツィーター・ユニットの優秀さに引けを取らないウーハー・ユニットの存在です。気難しい高剛性小型スピーカーの重さを感じさせる低音とは全く違う印象で、低い周波数までレスポンス良く空気を動かすことができるロング・ストローク設計を施されたELAC製TT115KST。一見アルミ製に映る振動板は、実は軽量で高いS/Nと剛性を実現するバルブ・ファイバーと0.2mmアルミのハイブリッド構造となっています。強力な磁気回路で駆動されるこのウーハーは、フロント・バッフルと樹脂一体成形されており、取り付け強度の確保と、金属フレームに起因する磁気歪みを解消、システム全体の特長である透明感溢れる音に寄与しています。またエンクロージャー内に発生する想像を絶するエネルギーを受けとめるため、堅牢な6.5mm厚アルミ押し出し材キャビネットを採用したことで、この高性能ユニットの実力を限界まで引き出すことに成功しています。予想を遥かに上回る軽快で余裕のある低音再生、そして音量を上げてハイスピードで歪みを感じさせない中高音。ドイツの技術力と理詰めの設計から生まれた驚異のパフォーマンスが、今世界中のオーディオファンの注目を集めています。

□形式:2ウェイ・バスレフ □ウーハー:115mmコーン・タイプ □ツィーター:JET □クロスオーバー周波数:3.3kHz □定格入力:70W □最大入力:90W □周波数帯域:42~30000Hz □能率:86dB/2.83V/1m (83dB/1W/1m) □インピーダンス:4Ω □推奨アンプ出力:50~150W □寸法:208×123×282mm(H×W×D) □重さ:5.5kg

# ELAC

## CL-310JET Silver / Black

STAND Z 800/A (Silver)  
Z 800 (Black)

## ドイツが生んだ徹底した歪み低減思想と高効率エネルギー変換技術

# ELAC

## CL-310JET

### JET (Jet Emission Tweeter)

エラックが開発したジェット・ツィーターは、ブリーツ状ダイアフラムを振動板とし、強力なネオジウム・マグネットで駆動されています。振動板面積は25mmドーム・ツィーターの10倍以上もあり、トランジェントの良さと透明感は格別です。



アンプからの信号は、スピーカー・ターミナル裏にある減衰特性に優れた高品位ネットワークに、ダイレクトに送り込まれます。ツィーター、ウーハーそれぞれに専用の基板で対応しており、バイ・ワイヤリング接続で威力を発揮します。



バルブ・ファイバーと0.2mm厚アルミとのハイブリッド振動板を持つ、大入力対応のTT115KSTロング・ストローク・ウーハー。取り付け強度確保と、金属フレームによる磁気歪み解消のためフロント・バッフルと樹脂一体成形されています。



堅牢な6.5mm厚のアルミ押し出し材エンクロージャー。内部にはユニット間の相互干渉低減と、強度を確保するため仕切りが設けられています。底面には専用スタンドとボルト止めするためのネジ穴が切っておりあります。



リア・バッフルには、風切り音低減のためのラウンドを持つバスレフ・ポートとバイワイヤリング接続に対応したスピーカー・ターミナルに分割されています。裸線の接続が基本ですが、バイワイヤ接続ではYラグの装着も可能です。



付属のグリルを取り付けたフロント・バッフル。バッフルはユニット間の相互干渉を防ぐため2分割されており、それぞれにツィーターとウーハーが取り付けられています。限りなく点音源へ近づいた最小面積も大きなメリットです。



バッフル面積を抑え容積を持たせるため、奥行きを伸ばした独特のプロポーション。写真はブラックカラー仕上げ。専用スタンドもブラック・タイプ有り。